

Code Orange

第39号

モーニングセミナー 2014年4月17日

当センターの研修医を対象としたモーニングセミナーが開催されました。救急診療科主催のモーニングセミナーは年2回開催されており、毎回災害がテーマにとりあげられています。今回は『旅先で多数傷病者が発生した車両事故に遭遇！！』というテーマで実践演習が行われました。当然、旅先ですので、限られた人員、限られた資機材しかありません。実技は、3グループに分けて行われましたが、各チームともリーダーの指示に従い、次々に患者を搬送することができました。適切なトリアージ、安定化処置、搬送の優先順位の決定について学びました。



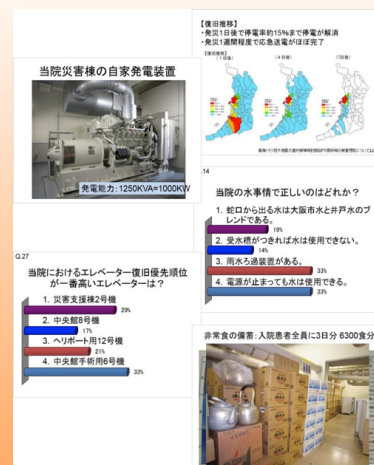
FERST basic研修 2014年5月16日

当センター職員を対象にFERST(注1) basic研修が開催されました。近隣の災害拠点病院から多数の受講者、見学者の方が参加されていました。研修では1時間ほどの講義のあと、トリアージの実技講習を行います。講義と実技が終われば、筆記テストと実技テストが待っています。今回の研修では、筆記テストの内容が変更され、受講生の中に眠る災害医療に対する興味と情熱を引き出すメッセージが盛り込まれていたそうです。



FERST Advanced研修 2014年6月19日

FERST Advancedコースが開催されました。FERST AdvancedはFERST basicの受講済みの人を対象とした研修です。今回のテーマはインフラストラクチャーに関してでした。南海トラフ巨大地震の被害想定が、内閣府や都道府県から発表されています。死者・負傷者数等は新聞で大きく取り上げられますが、実際に病院がどの程度被災するのかを深く考える機会は多くありません。そこで今回の研修では、現在大阪府が発表している被害想定（主にライフライン）を理解し、現状の当センターの備蓄で乗り切れるのか考えてもらいました。センター内の食糧・薬の備蓄はどのくらいあるのか、発災後、電気が復旧するまでの時間はどのくらいなのか、その間、センター内の自家発電は持つのか、電気が止まれば、エレベーターはどうなるのか。水は院内の備蓄でどの程度持つのか、それらが無くなった場合のバックアップ体制はどうなっているのか等、考えれば考えるほど悩まされる問題ばかりですが、災害拠点病院の職員として必要な知識であると思います。



(注1) 府立病院Emergency Response Support Team
次回のFERST研修は、[FERST basic] 8月15日開催予定です